

令和5年度事業概況報告

I 活動の概況

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類に移行し、コロナ禍前の事業活動に回復する中で、活動の原点である「税」に関する税制改正要望や普及啓発活動に積極的に努めました。

令和5年10月1日のインボイス制度開始に向けての研修等で、啓発活動に積極的に取り組むとともに、魚津税務署や魚津間税会、魚津税務連絡協議会等と連携して研修活動や「e-Tax」の利用促進等の税務行政のデジタル・トランスフォーメーションの周知及び啓発活動を行いました。

そのほか、当法人会のもう一つの柱である地域社会への貢献を目的とする事業を実施しました。

青年部では、次代を担う子どもたちに部会員の協力で租税教室を開催し、法人会の基本である税の普及啓発に努めました。また、女性部では、税に関する絵はがきコンクールを実施し、税の大切さを広く普及啓発する活動を展開しました。

II 主な事業活動

1. 公益目的事業について

(1) 税制改正への提言活動

令和6年度税制改正の提言に向け、全法連からのアンケートを当法人会の税制委員等の役員30先にご協力をいただき実施いたしました。

全法連では、9月開催の全法連理事会において「令和6年度税制改正に関する提言」を決議し、この提言を受けて国及び関係省庁並びに各政党に要望活動を展開しました。

当法人会においても、正副会長により地元選出国會議員及び管内市町村を代表して魚津市長並びに同市議會議長に要望実現に向け支援要請を行いました。

(2) 社会貢献・税の啓発活動の充実

将来の地域社会を担う子どもたちの心身の健全な発達を支援するため、公立図書館に図書購入費の一部を助成すること及び小学生に税に関する各種の教室や広報活動を通じて、広く税の大切さを深める活動を行いました。

①「児童向け図書の購入費用助成」事業

- ・対象団体：管内8市町村
- ・交付団体：2市（魚津市、滑川市）

②「租税教育」事業

- ・管内小学校：20校で計26回 当会青年部会員が講師となり開催いたしました。
- ・受講児童総数：760名

③「第14回税にする絵はがきコンクール」募集事業

- ・管内小学校42校（5～6年生対象）：配布数2,863枚
- ・絵はがき応募者数：374名
- ・絵はがき入選者：10名には各々図書カード贈呈

(3) 研修活動・講演会活動の充実

会員企業等に各種自己啓発支援事業として、特に税法・税務は法人会事業の根幹とし、講師に税務当局担当官等のご支援のもと研修内容の充実を図りました。また、税制以外にも会社法の法務研修や「中小企業の防災・減災セミナー」を関係機関の協力を得て実施しました。

研修会は、広く市民にも開放しており新聞やホームページにも掲載しPRに努めました。

① 定例研修会	9回	219名	
② 特別講演会	2回	165名	
③ 支部研修会	4回	32名	(支部役員会出席者数)
④ 青年・女性部会研修会	4回	81名	
⑤ 新設法人説明会	2回	16名	
⑥ 決算期別研修会	3回	52名	
⑦ 年末調整説明会	1回	17名	
計	25回	582名	
	(前年度23回)	(前年度603名)	

なお、上記中で一般市民の参加者は主として「特別講演会」、その他定例研修会では、消費税に関するものに参加者がいました。また、定例研修会の参加者には、「税制改正のあらまし」等の研修に関連する冊子を毎回無料で配布いたしました。

(4) 広報活動の充実

ホームページ、会報誌を通じて税の啓発に資する情報を提供し、租税教育事業、助成金事業については、地方紙、TV局等のマスメディアの協力を得て、知名度向上に努めてきました。

① 会報誌「明日香」は、税法について紹介するなど紙面を一層充実させました。

なお、全法連発行の「ほうじん」も同時期発行物を同封して送付しており、相乗効果を図りました(公共及び友誼団体窓口等にも同様配布)。

② ホームページは常時更新に努め、各種広報と共に情報提供や情報公開を逐次行いました。

2. 組織・財政基盤の強化について

(1) 組織の強化充実

会員加入数を各支部法人数の1%を目標として、各支部共々増強活動を推進致しました。

しかしながら、保険3社のご尽力等にもかかわらず、昨年引き続き目標値を下回り、下記のとおり加入率が40.0%を下回りました。

会 員 移 動 状 況

項 目		会 員 数	加 入 率	
令和 5 年 3 月 末		1,247 社	38.8%	
令和 5 年度 中 移 動	入 会	14 社		
	退 会	42 社		
	内 訳	脱会		8 社
		解散等		20 社
		転出・合併等		8 社
		休業		3 社
		喪失		3 社
令和 6 年 3 月 末		1,219 社	37.7%	

(2) 青年部会・女性部会の充実

① 青年部会

活動の中心である「租税教育活動」事業が前年に引き続き、管内小学校42校のうち20校で26回の租税教室を開講し学校からも好評でした。

② 女性部会

女性部会のあり方指針に則り、従来より継続中の下記諸事業につき、積極的に進化・発展させ拡充に努めました。

- ・地域社会貢献活動・・・「税の絵はがきコンクール」を実施。
- ・先進地視察研修会・・・砺波市の若鶴三郎丸蒸留所を視察研修先とし、その他に、勝興寺や高岡市万葉歴史館を訪問しました。
- ・会員研修会・・・今回は、初めての企画で「クリスマスアレンジ作り」を開催。
- ・各種「エコ」活動・・・「いちごプロジェクト」、「食品ロス削減の取組み」「とやまエコライフ・アクト10」活動の推進を図りました。

(3) 福利厚生事業について

会員各位のご理解により、福利厚生制度保険の受託3社と連携して重点商品であります「経営者大型保障制度」、「ビジネスガード」、「がん・医療・給与サポート保険」等を中心に制度の普及啓発活動に努めました。

また、福利厚生制度50周年の2箇年事業として「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を推進しました。

その他、未会員の加入促進にも努めました。下記の表は期中の各保険金の支払い明細です。

大型保障制度保険金・給付金支払状況

(令和5年4月 ～ 令和5年12月末)

区 分	件 数	金 額	備 考
死亡保険金 (大同)	2 件	1,500 万円	
手術給付金 (〃)	11 件	155 万円	
入院・通院給付金 (〃)	19 件	173 万円	
後遺障害保険金 (A I G)	0 件	0 万円	
その他 (〃)	32 件	179 万円	
合 計	64 件	2,007 万円	

大同生命保険株式会社
A I G 損害保険株式会社

「がん保険制度」支払状況

(令和5年4月 ～ 令和6年3月)

区 分	金 額	備 考
診 断 給 付 金	150 万円	
入 院 給 付 金	250 万円	
死 亡 保 険 金	350 万円	
そ の 他	577 万円	
合 計	1,327 万円	

アフラック生命保険株式会社